

ベセスダ小委員会発足について

日本細胞診断学推進協会細胞検査士会 委員会施行規程第 6 条にもとづき、ベセスダ小委員会を細胞検査士会学術委員会の中に発足させましたので報告いたします。

【目的】

平成 19 年 6 月に公表された「がん検診に関する検討会中間報告」では子宮頸がん検診の結果にはベセスダシステムあるいは日母分類のどちらを用いたか明記し、日母分類を用いた場合は検体の状態においてベセスダシステムによる「適正・不適正」に相当する「判定可能・不可能」を明記することが明文化された。またクラス分類を廃止する国内外での動向があり、すでに乳腺、甲状腺では廃止されておりこれらの背景について理解する必要がある。

この報告様式がすぐに全国に浸透するか否かの予測は難しいが、我々細胞検査士にとってベセスダシステムを理解し、そのスタンダードとなる細胞像を習熟することは大変重要なことと考える。

そこで、ベセスダシステム（新日母分類）の理解および標本の適・不適の考え方の徹底。特に新しい概念である ASC-US、ASC-H、AGC などの細胞像の統一化を目指すことを目的とする事業の実施のため小委員会を発足させる。

【委員】

委員長	是松元子	埼玉社会保険病院
副委員長	吉田志緒子	東京都予防医学協会
委員	荒井祐司	癌研有明病院
	及川洋恵	宮城県対がん協会
	大塚重則	ピーシーエルジャパン病理細胞診センター
	蒲 貞行	群馬大学保健学部
	北 健二	協同病理
	関 利美	日本大学板橋病院
	田路英作	大阪がん予防検診センター
	平田哲士	千葉県立がんセンター
ワザバ	小笠原利忠	誠仁会大久保病院
	今野 良	自治医科大学附属大宮医療センター
	鈴木雅子	石心会狭山病院
	平井康夫	癌研有明病院
	安田政実	埼玉医科大学国際医療センター
	山内一弘	ピーシーエルジャパン病理細胞診センター

(50 音順)

【期間】平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

【事業】

1. 細胞検査士教育セミナー特別企画の実施
2. ベセスダシステムワークショップの実施
第一回：10 月 26 日 神戸大学
第二回・三回：3 月 14 日・15 日 日大板橋病院
3. 上記事業のための企画会議の実施

文責 是松